

求む！

ポジティブ 広報情報



- ◆ 学生や留学生の活動（サークルやボランティア活動など）
- ◆ 大学主催の公開講座
- ◆ 学内開催の学会・講演会
- ◆ 工学系研究科教員が講師を務める学外での講演会、セミナーなど
- ◆ 小中学生・高校生等を対象とした見学会や講座
- ◆ 科研費など外部資金のアウトリーチ活動
- ◆ 研究成果（論文発表、学会発表）で顕著なもの
- ◆ 学会等からの受賞（教員、学生）などなど



学生・留学生に関わる広報情報については、
当該学生等に1件につき**QUOカード1,000円進呈**

対象：理工学部教職員

提供件数：制限なし

提出先：理工学部事務室(所定様式有)

kokenkyu@mail.admin.saga-u.ac.jp

がんばって！



【共催】 理工学部，理工学部同窓会・菱実会

理工学部における広報情報収集体制の構築について

1. 趣旨

理工学部における教育・研究・地域貢献・国際交流などの各種活動やその成果（以下、広報情報と称す）を対外的に積極的にアピールすることにより、佐賀大学理工学部および理工学部に対する認知度とイメージの向上を図り、最終的には志願者数の増加につなげることを目的とする。

そこで、各種広報情報を組織的かつ効率的に集約し、効果的に発信するため、以下のような情報収集体制のもとで広報活動を強化したい。

2. 収集対象とする広報情報について

理工学部教員が関与している教育・研究・地域貢献・国際交流などの各種活動、行事やその成果を全て対象とする。特に、プレスリリースできるような情報を収集する。

【例】

プレスリリース候補

- 著書出版
 - 研究専門内容をまとめた大手出版社から全国販売される図書
 - 地域に根差した研究をまとめた図書
- 論文発表
 - 国際的に著名な雑誌(学術雑誌インデックスが高い、インパクトファクターが高い)への論文掲載
 - 地域の文化・生活に貢献する論文掲載
 - 留学生や学生などの表彰を伴うもの
- イベント(実施後ではなく開催の通知)
 - 全国の市民の文化教養に資するもの
 - 地域文化・生活に貢献する情報発信

その他以下の活動

- 学生の活動（顧問を担当しているサークル等の全国大会出場など）
- 留学生の活動（各種ボランティア活動など）
- 大学主催の公開講座
- 学内開催の学会・講演会（世話教員が理工学部所属のもの。主催が外部団体等の場合も含める。）
- 理工学部教員が講師を務める学外での講演会、セミナーなど
- 小中学生・高校生等を対象とした見学会や講座
- 科研費など外部資金のアウトリーチ活動（ひらめき☆ときめきサイエンスなど）
- 研究成果（論文発表，学会発表）で顕著なもの、対外的にアピールしたいもの
- 学会等からの受賞（教員，学生）
- 財団助成金等の採択

※行事については、より具体的な例を 3 ページに示す。

3. 広報情報の収集と展開方法

(1) 各種活動、行事、成果の主体となる教員から、理工学部事務室に、プレスリリース原稿と広報情報原稿を電子メールにて提出。その後、広報担当、学部長に転送。

※速報性が重要な場合など、時間的に余裕がない場合は各教員から本学広報室に直接提出することも可。その場合、メールの同報送信(cc)等で理工学部事務室に送信し、情報共有をお願いしたい。

(2) 理工学部広報担当は、理工学部事務室から転送された広報情報の取扱いについて協議し、広報室に提出するかどうか判断する。(基本、全て提出する方向。)

(3) (2) の検討結果にもとづき、必要に応じて、理工学部ホームページ(<http://www.se.saga-u.ac.jp>)へ掲載すると共に、本学広報室に提出する。提出の際にメールの同報送信(cc)で学部長、事務長に送信し、情報共有する。また、広報情報として重要と判断されたものについては、広報室に対してプレスリリース(投げ込み、記者会見など)等の働きかけを行う。(文教ニュース・速報等に適するかどうかとも判断。)

(4) ポスター掲示と共に、毎月1回程度、教職員に対して情報提供の呼びかけを行う。

4. 広報情報の提出内容

(1) 実施前

- ・ プレスリリース原稿(4ページ目に例を添付。)
- ・ 各種行事等の概要、開催案内・チラシ等、その内容がわかる資料

(2) 実施後

各種行事等の報告書

- ・ 5ページ目に例を添付。(本学広報室の書式に、情報提供者の欄を追加したもの)

5. 提出先

理工学部事務室 kokenkyu@mail.admin.saga-u.ac.jp

6. 広報情報に関わる学生へのインセンティブ

- ・ 学生・留学生の活動や受賞などの広報情報については、その対象となる学生に対してインセンティブを付与する。
- ・ インセンティブは、広報情報1件あたりQUOカード1,000円分とする。
- ・ 毎年度2回、9月末と2月末を締日とし件数を取り纏めた後、翌月中に対象者に提供する。(原則、3月に提出されたものは翌年度の件数としてカウントするが、卒業・修了生が対象となった場合は卒業式前日までに提供する。)
- ・ イベント、行事については実施後の報告を件数カウントの対象とし、実施前の案内等についてはカウントしない。

理工学部広報担当：

副学部長	後藤 聡	goto@cc.saga-u.ac.jp
学部長補佐	田中 徹	ttanaka@cc.saga-u.ac.jp

【各種行事等の具体的な例】

平成 27 年度工学系研究科・理工学部自己点検・評価報告書（12 章社会貢献）より抜粋

(全専攻)

- ・ 高等学校とのジョイントセミナー
- ・ 佐賀県立致遠館高等学校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

(物理)

- ・ 佐賀県教育センター 高校物理講座
- ・ 佐賀大学の授業を受けてみよう
- ・ 佐賀県立九州シンクロトン光研究センター 一般公開

(知能)

- ・ 佐賀県警 サイバー犯罪捜査実践塾
- ・ 大学コンソーシアム佐賀 SD ワークショップ

(機能)

- ・ 高大連携プログラム「科学者へのとびら」-科学的思考力育成プログラム-
- ・ 佐賀県高文連自然科学専門部会研修会
- ・ 身近な化学物質と健康
- ・ 佐賀県理科教育研究大会
- ・ 佐賀県理科・化学教育研究発表会
- ・ 連携大学院産学官交流セミナー
- ・ 佐賀大学 A P 研究所発表会

(機械)

- ・ ゆめさが大学 講義
- ・ 佐賀再エネパイオニア育成講座
- ・ 佐賀市久米島中学生交流

(電気)

- ・ 佐賀県科学的思考力育成プログラム「科学者へのとびら」

(都市)

- ・ 佐賀県消防職員意見発表会審査
- ・ 九州の水環境を知ろう ～佐賀の水環境（2）～
- ・ 石井樋 400 年祭シンポジウム
- ・ 日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会&総会

(先端)

- ・ 有田ニューセラミックス研究会第 1 回講演会
- ・ 工業教育活性化セミナー
- ・ ものづくり技術者育成講座
- ・ 工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀
- ・ 国際パートナーシップ

【担当者所属・氏名・連絡先】

〇〇部門・〇〇 〇〇・内線〇〇〇〇・e-mail:〇〇@cc.saga-u.ac.jp



佐賀大学 SAGA UNIVERSITY

理工学部 FACULTY OF SCIENCE AND ENGINEERING

令和元年〇月〇日

タイトル

【概要】

【本文】



「宇宙を学べる大学 in 九州 2019」にて研究紹介

【概要】

「宇宙を学べる大学 in 九州 2019」を令和元年 6 月 23 日（日）に佐賀県武雄市の佐賀県立宇宙科学館（ゆめぎんが）で、理工学部と佐賀県立宇宙科学館の共催で開催します。宇宙や天文を学ぶことのできる九州とその周辺の大学の教員が一堂に会し、研究室紹介や講演会などを実施します。

【本文】

「宇宙を学べる大学」は全国の各地区ごとに開催され、宇宙や天文について学ぶことのできる大学を紹介するイベントであり、参加大学の研究室紹介に加え、一般市民向けの講演会や質問コーナーを提供しています。今年の担当校は佐賀大学で、佐賀県武雄市の佐賀県立宇宙科学館（ゆめぎんが）で、6 月 23 日（日）に開催されることとなり、物理学部門の船久保 公一 教授と高橋 智 准教授が宇宙科学館のスタッフと共同で準備を進めてきました。

今回は佐賀大学理工学部からは物理学部門と情報部門、その他、九州大学理学部・工学部、福岡教育大学教育学部、福岡大学理学部、熊本大学理学部、大分大学理工学部、鹿児島大学理学部、山口大学理学部、広島大学理学部、愛媛大学理学部、岡山理科大学生物地球学部、大阪教育大学教育学部、放送大学が参加する予定です。

午前 10 時から短い講演形式の研究室紹介の後、個別相談を行い、午後からは一般向けの講演会と宇宙に関する Q&A 大会が開催されます。講演会の内容は、今年リアルな画像が公開されて話題になったブラックホールについて愛媛大学の長尾 透 氏による「銀河、そしてその中心に潜む超巨大ブラックホール」、佐賀大学特任教授の新井 康平 氏による「はやぶさ 2 号『リュウグウ』に着陸」の 2 つです。

すでに佐賀大学理工学部と宇宙科学館による広報活動が始められており、チラシが配布されている他、新聞雑誌などでも紹介されています。また、NHK 佐賀放送局の情報番組でも簡単な紹介がされる予定です。

なお、イベントスケジュール他、詳しい内容については宇宙科学館の Web サイトに掲載されています。

(<https://www.yumeginga.jp/>)



理工学部成績優秀者の国際交流活動組織「STEPs」による 台湾での海外研修報告会を実施

【概要】

理工学部長表彰を授与された成績優秀者で構成される国際交流活動組織「STEPs」の学生が平成 30 年 10 月 31 日（水）に学長室を訪問し、平成 30 年 9 月 10～15 日に実施した台湾の国立台中勤益科技大学と国立台北科技大学での海外研修の報告会を行いました。

【本文】

理工学部には、学部長表彰を授与された成績優秀者（各学科 2 名（3，4 年生））と**その大学院進学者**の有志で構成される国際交流活動組織「STEPs」があります。STEPs の活動の一環として、平成 30 年 9 月 10 日（月）～15 日（土）の間、台湾の国立台中勤益科技大学と国立台北科技大学で海外研修を実施しました。

平成 30 年 10 月 31 日（水）に宮崎学長，兒玉教育・学生担当理事，寺本研究・社会貢献担当理事を交えて，研修で得た貴重な体験などを発表する機会が設けられ，研修に参加した学生 13 名のうち 11 名と，渡学部長，後藤副学部長，カーン学部長補佐，**下古場理工総務主任**の計 15 名が学長室を訪問しました。

リーダーの澁谷光一郎 君（機械システム工学科 4 年）が，参加者全員でまとめたスライドをもとに，現地を訪れての感想などを織り交ぜながら，帰国するまでの 6 日間の研修報告を行いました。今回の海外研修では，各々の大学での研究室見学や先方への STEP の紹介，書道体験や学生との文化交流，工場見学や故宫博物館見学などの様々な体験ができたことや，今後の STEP 活動についてなどを報告しました。

研修報告の後，学長から参加学生への問いかけがあり，台湾の学生との交流内容や，STEP の目標などについて説明し，約 30 分の報告会を和やかな雰囲気の中で終わりました。

学長や理事を交えた場で，このような懇談の場を経験でき，また，「STEP の活動がその後の人生でどのように生かせるかを常に考え，誇りを持つように」とのコメントも頂き，学生にとっては今後の自信につながる大変有意義な経験となりました。

【担当者所属・氏名・連絡先】

〇〇部門・〇〇 〇〇・内線〇〇〇〇・e-mail:〇〇@cc.saga-u.ac.jp



報告会終了後の記念写真

記者発表事項記入用紙

所属部局 理工学部

氏 名

連絡先電話番号

E-mail:

1. 記者発表事項名

第7回日韓危機管理セミナー
(The 7th Korea-Japan Crisis & Emergency Management Seminar)

2. 事項の概略

平成30年5月25日～26日にかけて日本、韓国、中国などの研究者や行政関係者が集まり、災害危機管理に関する研究発表と意見交換等により被災者のための自治体と災害レジリエンス強化に繋げることを本セミナーの開催趣旨として実施する。25日は、佐賀大学本庄キャンパスの理工学部6号館2階多目的セミナー室で9:30～17:00の予定でセミナーを行う。佐賀県や国土交通省からの特別講演の後、日韓などの研究者からの一般講演が行われる。26日は現地見学会として、平成28年の熊本地震、平成29年の九州北部豪雨の被災地とその復興状況の視察を実施し、意見交換を行う。

主催: 佐賀大学理工学部都市工学科

共同主催: 韓国忠北大学国家危機管理研究所、Crisis and Emergency Management: Theory and Praxis, Global Crisisonomy Institute

共催: 佐賀大学

3. 当日の説明者(所属・氏名)

(所属) 理工学部 学科 (氏名)

4. その他

資料等 別添 セミナープログラム



2018年05月23日

イベント

第7回日韓危機管理セミナーを開催します（5月25～26日）



佐賀大学 SAGA UNIVERSITY

〒840-8502 佐賀市本庄町1

Tel: 0952-28-8153 Fax: 0952-28-8921

PRESS RELEASE

平成30年5月25日～26日にかけて日本、韓国、中国などの研究者や行政関係者が集まり、災害危機管理に関する研究発表と意見交換等により被災者のための自治体と災害レジリエンス強化に繋げることを開催趣旨として、下記のとおり日韓危機管理セミナーを実施します。

25日は、佐賀大学本庄キャンパスの理工学部6号館2階多目的セミナー室でセミナーを行った後、佐賀県や国土交通省からの特別講演、日韓などの研究者からの一般講演が行われ、26日は、現地見学会として平成28年の熊本地震、平成29年の九州北部豪雨の被災地とその復興状況の視察を実施し、意見交換を行います。

記

日 程：平成30年5月25日（金）・26日（土）

場 所：佐賀大学本庄キャンパス 佐賀大学理工学部6号館2階多目的セミナー室、熊本県熊本市、福岡県朝倉市

参加費：無料

※ スケジュール等詳細については別添資料を御確認ください。

※ 25日午後の一般講演は、英語で行われます。

【本件に関するお問い合わせ先】

佐賀大学理工学部都市工学科 大串 浩一郎

F A X : 0952-28-8699

E-mail : ohgushik@cc.saga-u.ac.jp

[◀ 戻る](#)